

「感染しない」「感染させない」を合言葉に

有田史談会 月例通信

コロナに負けない！

事務局 中村貞光
090-4740-4752

■多くの皆様に大変ご心配をお掛けしましたが随分元気になりました！

■7月31日午前中、2区の役員での8月祇園祭の参道清掃作業を行いました。と言っても私自身の記憶は8月11日まで全くなく、清掃作業の途中で倒れてしまい、救急車の緊急出動のお世話を受けることになりました。搬送先が決まるまで、心臓マッサージを受け搬送先が決まり、私は新武雄病院へ運ばれました。家内はこの先どうなっていくのか大きな不安を抱きながら救急車に同乗して新武雄病院へ付き添ってくれました。

■担当医師の話では、脳への血流不足が生じ心臓が3回止まったそうで、冠動脈にステントの挿入手術が行われたことも私自身は全く記憶がありません。家内は3日の手術当日に、場合によっては植物人間になる可能性があるので同意書を書くように促され、家内は1週間あまり泣いて過したと言っていました。

帰宅後、大阪の兄と東京の弟に電話を入れ傍に付き添って欲しいと頼み込んだようですが、どれだけでも不安だったと思います。

■7月31日の救急搬送から9日目に目を醒ましたようですが、この間ことも殆ど記憶がありません。この日の午前中に、新武雄病院の2階と5階でリモートによる家内との面会もあったようですが、これも全く記憶がありません。

■8月11日からリハビリを開始しましたが、これまで途切れ途切れだった記憶が、徐々に戻りつつあります。かなり弱っていた筋力も徐々に回復しています。新武雄病院から望む周囲の山々の美しさ毎日眺めながらリハビリに日々励んでいます。

今年の8月は叔母の初盆でしたが、今思い返せば私の葬式が先になるかも知れない状況だったと、皆さんに感謝の気持ちで一杯です。

■山口区長はじめ岩尾議員は、私の家内から叱責を受けたと聞きましたが、私に免じてどうか許して下さい。当日は午前中から気温が急上昇し、一部に役員は作業を休んだ方もあると後日聞きました。突発的な事故の後で大騒ぎするより、事前の準備と配慮をお願いしました。

■小生も今年1月に72歳になり、十分すぎる高齢者になりました。私の入院中に同級生のご主人が同じ病院に脳梗塞で入院して来たり、直前には、もう一人の知人が脳梗塞で入院したと聞きました。

また、先月は山口前町長が大動脈解離で突然亡くなり、この年齢になれば誰が先に逝ってもおかしくない年齢になったと感じます。いつまでも若くないということです。

■今回の経験で、色々なことを考えさせられました。日頃から健康管理には十分すぎるくらい自己管理をしていたつもりが大きな落とし穴がありました。

これまでのように主観ばかりに頼らず、これからは自分を客観的に見る習慣を心掛けたいと思っています。

■コロナが終息するどころか、全国的に変異株が広がり、連日感染者の拡大が気になる昨今です。ワクチン接種も日本全体で3回目接種まで進んでおり、そろそろ収束に向かって欲しいものです。

日本国内の接種人数（職域接種分含む）



(全人口には接種対象年齢に満たない子どもも含まれます)

全国 65歳以上の高齢者 接種割合



